

## 画像レポートの翌診療日までの作成率

### 目的

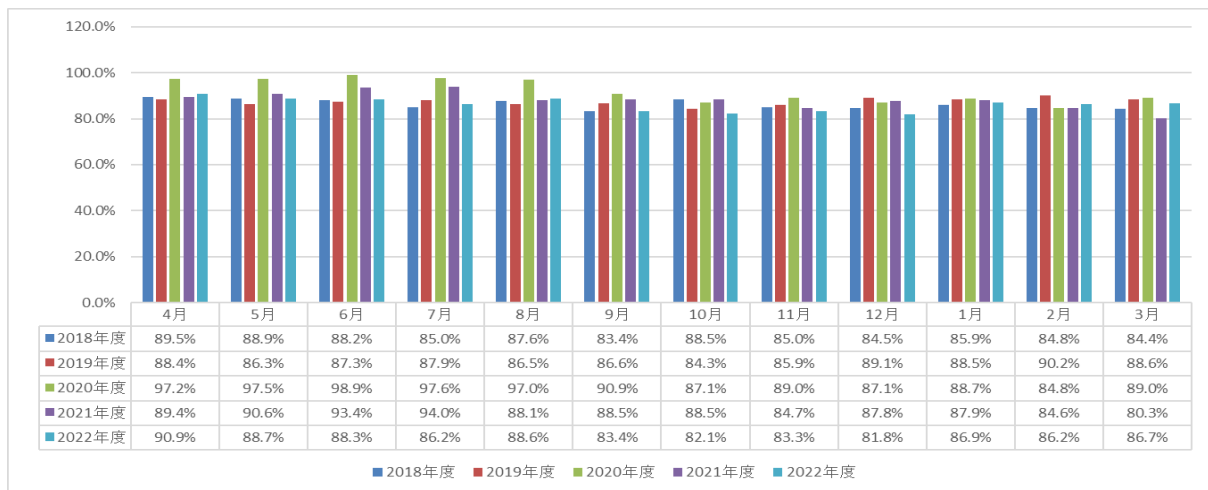
画像診断管理加算2に係る施設基準の要件を満たしていることの確認。

### 分母

総撮影数

### 分子

翌診療日読影数



### データ抽出内容

「画像診断管理加算2」に係る施設基準の要件を満たしていることの確認

※施設基準

核医学診断およびコンピューター断層診断のうち、少なくとも8割以上の読影結果が、画像診断を専ら担当する医師により、遅くとも撮影日の翌診療日(翌営業日)までに主治医に報告されていること

### データ分析コメント

<全件読影と今後の目標について>

「画像管理加算2」については翌診療日までの読影率が問題とされていますが、本院では翌診療日までに読影されなかった検査に関しても、後日すべて読影する方針をとっています。休診日明けは未読影の画像レポートが増加し、読影率低下の原因となりますが、休診日2日以上続く場合には適宜読影のため出勤し、休日明けの読影負担を軽減する形をとっています。今後働き方改革のために残業時間が多い医師についての対策が求められていますが、当科では残業時間が多い医師の読影にかなり大きく依存している部分があり、連休ではない休日においても残業時間の少ない医師が当番で読影を行うことで残業時間の医師間の差を減らす等の対策を現在検討中です。翌診療日までの読影率80%以上を維持し、最終的な読影率が100%に達するまでの期間をできるだけ短縮することが引き続き業務目標となります。